

PF-RW004

5MP対応 PoE給電方式 4ch ネットワークビデオレコーダ

簡易マニュアル



取扱説明書

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

安全上の注意事項

- 製品を正しく使うことでユーザーの安全を確保し、財産上の損害などを事前に防止するために必ずお守りください。



警告

指示事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある場合。

設置について

- 設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線はご遠慮願います。異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。異常作動により火災や感電、けがの原因となります。
- 停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってください。火災、感電、けがの原因となります。
- カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。火災、感電、けがの原因となります。
- 本機の後面には接続のための端子が突出しているため壁に近すぎるところに設置すると、ケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。火災、感電、けがの原因となります。
- 温度が高すぎる場所（40℃以上）や低いところ（5℃以下）、湿度の高いところには設置しないでください。火災の原因となります。
- 湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。感電、火災の原因となります。
- 直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。ロウソクや暖房器具など、熱を発生する機器の近くには設置しないでください。火災が発生する恐れがあります。

- 設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

製品の表面を傷つけ、故障や感電の恐れがあります。

電源について

- 本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの電熱器具と一緒に使用しないでください。異常発熱や火災、感電の原因となります。
- 電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を懸せたりして破損しないようにしてください。火災の原因となります。
- 電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS（Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置）の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店にお問い合わせください。
- アース（接地）は確実にこなう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

使用について

- ・ 製品に水または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。
故障、火災の原因となります。
- ・ 異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。
火災、感電の恐れがあります。
- ・ 電池は製造者が指定した同一型番または同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。
爆発の恐れがあります。
- ・ 湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。
火災、感電の恐れがあります。



指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について

- ・ 強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。
磁石類や電波、振動のないところに設置してください。
- ・ 水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。
機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。
- ・ 密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内の空気は適切に循環させてください。
周辺環境要素による故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。
- ・ ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。
製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。

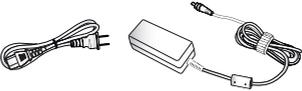
- ・ 強い衝撃や振動のない場所に設置してください。
故障の原因となります。

使用について

- ・ 製品の上に重い物を置かないでください。
故障の原因となります。
- ・ 通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。
故障の原因となります。
- ・ 製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。
故障の原因となります。
- ・ 製品前面の録画LEDが点滅し続けている場合、システムとHDDが正常に接続されていることが分かります。
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。
- ・ HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。
- ・ データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。
- ・ 製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

付属品の確認

製品の梱包を解体し、下記の付属品がすべて含まれているか確認してください。

		
<p>ネットワークビデオレコーダ</p>	<p>電源ケーブル / 電源アダプタ (56V)</p>	<p>簡易マニュアル</p>
		
<p>遠隔プログラム/ 製品のマニュアルCD</p>	<p>保証書</p>	<p>マウス</p>



CD-ROMには次の各種取扱説明書 (PDFファイル)、ソフトウェア等が収められています。

【取扱説明書】設置運用マニュアル(PF-RW004_IM・OM_verX.XX.pdf)

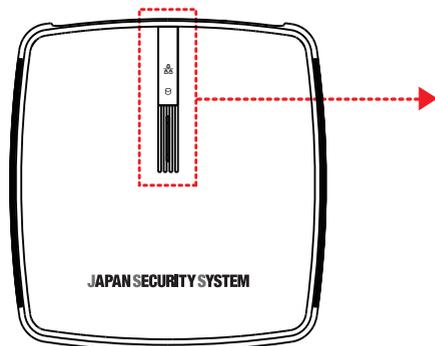
【取扱説明書】簡易マニュアル(PF-RW004_QG_verX.XX.pdf)

【取扱説明書】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS_manual_verX.XX.pdf)

【ソフトウェア】JSS遠隔監視システム(JSS-RMS)

※取扱説明書はPDFファイルのため、Adobe Acrobat Reader が必要です。

前面パネル



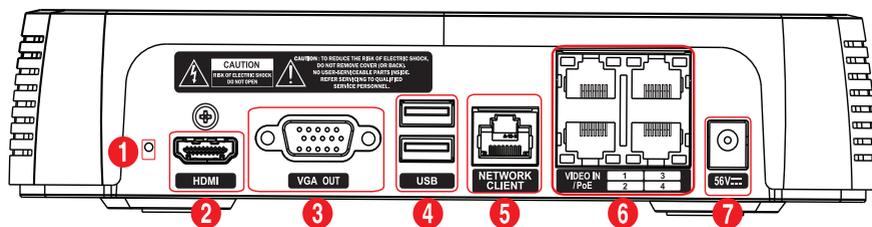
LED

-  ネットワークLED: 本機はイーサネットによりネットワークから接続されているときに点滅します。
-  HDD LED: ハードディスクに映像を保存したり、保存された映像を検索したりするときに点滅します。
- 電源LED: 本体が動作中に点灯します。



- 家庭用PCのように、USBマウスを利用して各設定ウィンドウやメニューに移動することができます。

後面パネル



①	ファクトリーリセットボタン	②	HDMI出力端子	③	VGA出力端子
④	USB端子	⑤	ネットワーク端子	⑥	カメラ入力・PoE端子
⑦	56V電源入力端子				

後面パネルの接続

ファクトリーリセット



装置の後面のオーディオ出力端子の右側にあるファクトリーリセットボタンは、NVRを工場出荷時の初期設定に戻すときにのみご使用ください。

 ファクトリーリセットを使用する場合、ユーザーが保存したNVRのすべての設定値が失われます。

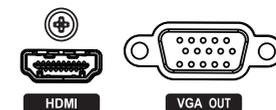
 ファクトリーリセットを行うためには、まっすぐ伸ばしたクリップが必要です。

- 1 NVRの電源をオフしてください。
- 2 まっすぐ伸ばしたクリップをファクトリーリセットボタンの穴に差し込んでスイッチを押したままNVRの電源を接続してください。
- 3 NVRの初期画面表示後10秒経過するまでスイッチを押し続けてください。

- 4 押ししていたクリップをスイッチから外すと、NVRのすべての設定は工場出荷時の初期設定の状態に戻ります。

モニタ接続

VGA OUT、HDMI端子にモニタを接続することができます。



ネットワーク接続



本NVRはイーサネットコネクタを利用してネットワークに接続することができます。NVRコネクタにRJ-45ジャックを使用するCat5e/Cat6ケーブルを接続します。NVRは遠隔地から監視、検索、制御およびソフトウェアのアップデートができます。イーサネット接続設定に関する内容は、[設置運用マニュアルのネットワーク設定](#)を参照ください。



接続されたネットワークが100Mbpsである場合は右側に緑色のLEDが点灯し、10Mbpsである場合は左側にオレンジ色のLEDが点灯します。Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。

電源コードの接続



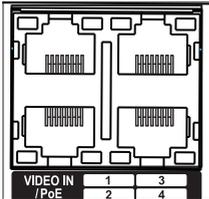
本NVRは電源ボタンがないため、電源を接続するとすぐに立ち上がります。アダプタのコネクタ (56V ) をNVRに接続した後、アダプタのAC電源プラグを壁のコンセントに差し込みます。



- 電源コードはきれいに配線し、足に引っかかったり、家具などによって被覆が剥がれないように注意してください。また、電源コードはカーペットの下を通さないください。
- タコ足配線は危険ですので、お止めください。

ビデオ接続

・ Video In/PoE (ビデオ入力/PoE) 端子

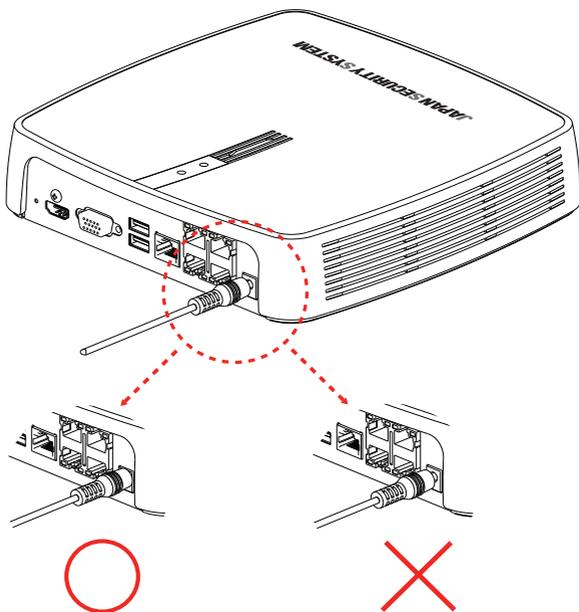
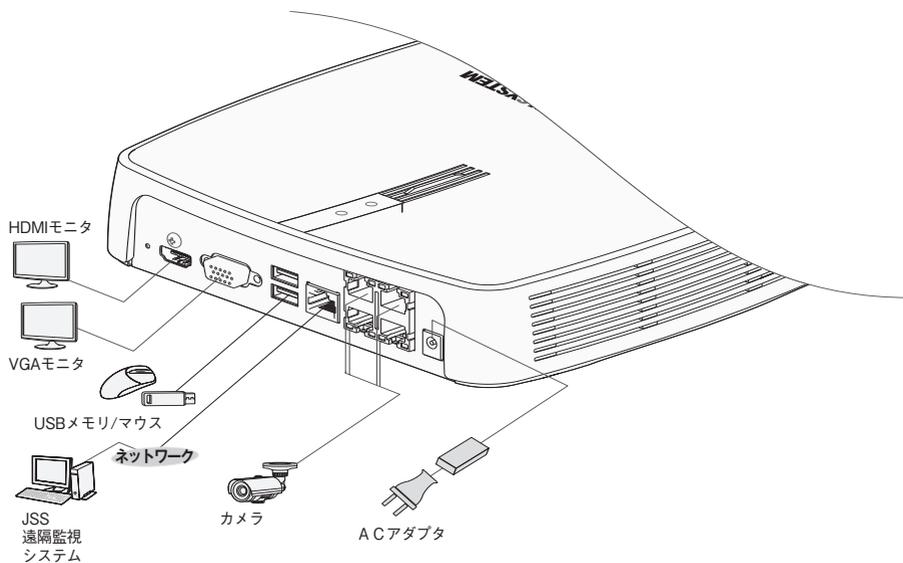


RJ-45プラグを使用するCat5e/Cat6ケーブルを利用してネットワークカメラまたはビデオエンコーダを接続します。



接続されたネットワークにPoE電源が印加されると右側に緑色のLEDが点灯し、Linkされると左側にオレンジ色のLEDが点滅します。

後面パネルの接続図



ウィザード実行

設定ウィザードを利用し、システム運用に必要な初期設定を行うことができます。

- ✓ 設定ウィザードは管理者アカウントでログインすると、リアルタイム監視メニューのウィザードメニューから実行できます。

- 1 設定ウィザードのオプションを選択した後、次ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。(最初起動の時、下の画面は表示されません)



- ✓ ウィザード画面全体でキャンセルを選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

クイック設定ウィザード

- 1 クイック設定ウィザードを始めます。

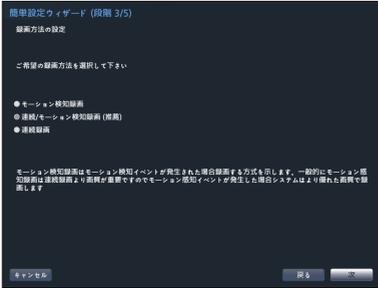


- 2 日付や時刻を設定した後、次をクリックしてください。

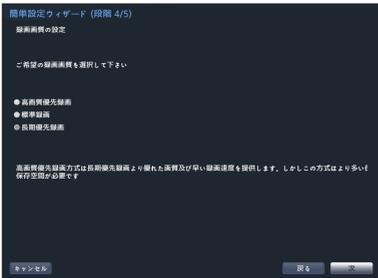


- ✓ 変更された日付/時刻の設定値は、次をクリックすると適用されます。
- 日付/時刻設定に関する詳細は [設置運用マニュアルの日時/時間を参照](#) ください。

- 3 設定したい録画方式を選択した後、次をクリックしてください。



- 4 設定したい録画画質を選択した後、次をクリックしてください。

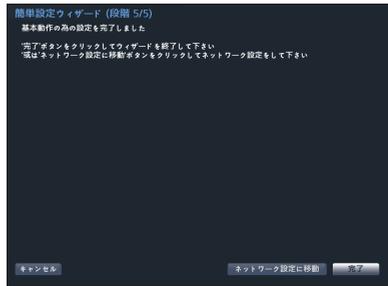


- 高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。
- 選択した録画画質によってビデオプロファイルが決まります。
 - 高画質優先録画：最高画質
 - 標準録画：高画質
 - 長時間優先録画：標準画質

- 選択した録画方式および画質によるビデオプロファイルは次のとおりです。

	高画質 優先録画	標準録画	長時間 優先録画
モーション 検知録画	最高画質	高画質	標準画質
連続/モー ション検知 録画	最高画質 (連続) / 最高画質 (モーショ ン)	高画質 (連 続) / 高画質 (モーショ ン)	標準 (連 続) / 標準 (モーショ ン)
連続録画	最高画質	高画質	標準画質

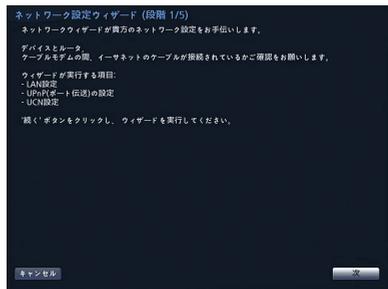
- 5 完了をクリックすると、クイック設定ウィザードが終了します。



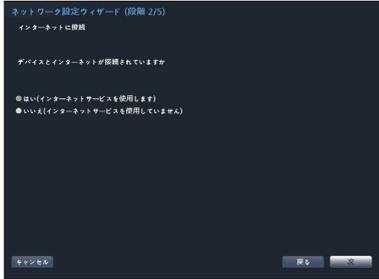
ネットワークウィザード

- クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定**へをクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることもできます。

- 1 ネットワーク設定ウィザードを始めます。

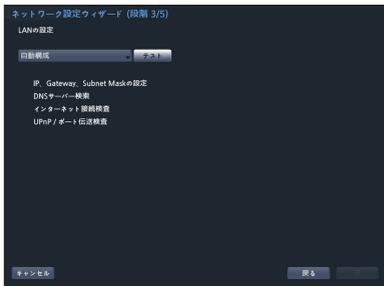


- 2 システムが外部のインターネットに接続されているかを選択し、次をクリックしてください。



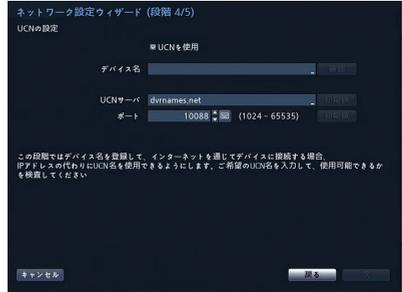
- インターネット接続選択で**いいえ**を選択した場合、テストが完了してから**完了**を押すと、ネットワーク設定ウィザードが終了できます。

- 3 ネットワーク構成を選択し、次をクリックしてください。自動構成または手動構成から設定したいネットワーク構成を選択した後、**テスト**をクリックすると、現在のシステムのネットワーク構成が使えるかどうかを確認できます。



- テストを完了しないと、次の段階には進めません。
- DHCPサーバのあるネットワークにNVRが接続されている場合、**自動構成**を選択するとIPアドレスやDNSアドレス等のLAN設定値が自動で割り当てられます。**手動構成**を選択すると、IPに関する設定をユーザーが任意でできます。
 - **UPnPを支援するデバイスがありません**。というエラーメッセージが表示されたら、使用するIPルータ（あるいはNAT）がUPnP機能に対応しているか、もし対応しているなら使用可能になっているか確認してください。IPルータがUPnP機能に対応しているかは、ご使用中のIPルータのマニュアルをご覧ください。

- 4 UCNサーバに登録されるNVRの名前を**デバイス名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。



- UCNサーバに登録されるデバイスの名前は、NVRの固有の名前です。JSS遠隔監視システムなどのClientからNVRのデバイス名でシステムに簡単に接続することができます。確認後正常に登録されたら、終了が活性化されます。
- NVRの名前を入力しなかったりUCNサーバにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
 - ユーザーのネットワーク環境によってはUCNサービスが作動せず、ネットワークに接続できない場合があります。この場合、ポートを手動で設定する必要があります。ポート設定に対する詳細は、[設置運用マニュアルのネットワーク設定](#)を参照ください。

- 5 **完了**をクリックして、ネットワーク設定ウィザードを終了してください。



カメラ登録

システムを初めて起動させてから設定ウィザードを終了すると、検索ボタンをクリックしてNVRに接続されているカメラを検索します。またカメラを登録して削除することもできます。

- ✓ NVRにカメラを登録して使用する場合、カメラ登録時にカメラ設定の大部分はNVR規定値に変更されます。登録するカメラは初期化してであると安心です。カメラ登録後のカメラ設定変更はNVRから行い、PCなどからカメラに直接接続して設定変更を行わないでください。設定を変更した場合、誤作動することがあります。



- **タイトル:**カメラのタイトルを表示します。カメラのタイトルのところでマウスの左ボタンをクリックすると、カメラのタイトルを編集することができます。



デバイススキャン

スキャンボタンを押すとデバイススキャン画面が表示されます。

- ✓ 他社のカメラはプロトコルおよびカメラのモデルによって、一部の動作に対応しない場合があります。



- **プロトコル:** 検索したいカメラ（またはビデオエンコーダ）のプロトコルを選択してください。
- ✓
 - 1台のカメラについて、JSSプロトコルでカメラ登録できるNVRは1台だけです。すでに別のNVRにJSSプロトコルで登録済みのカメラは、重複してJSSプロトコルでカメラ登録することができません。
 - NVRに対応するプロトコルでも、カメラのモデルによってはデバイス登録ができなかったり、機能が使えなかったりする場合があります。対応するカメラのモデルに関する詳しい内容は、NVRの代理店までお問い合わせください。
- **モード:** スキャンモードを選択してください。
 - **自動検索 (LAN):** ローカルネットにあるカメラを検索します。**自動検索 (LAN)** モードで検索出来ないカメラは**IPアドレス**で検索してみてください。
 - **IPアドレス:** カメラのIPアドレスを入力して検索します。2つ以上のカメラを登録する場合、IPアドレスの範囲を入力して一度に検索することもできます。IPアドレス設定時のポート設定を選択すると、遠隔監視に使用するポート番号を設定することができます。カメラのネットワーク接続を設定する時、DHCPを使用しないことをお勧めします。DHCPを使用する場合、外部ネットワーク環境の変化によって、デバイスが正しく接続されないことがあります。
- ① **MACアドレス:** カメラのMAC情報のうち、後ろ12桁の数字が表示されます。
- ② **アドレス:** 検索されたカメラのIPアドレスが表示されます。
- ③ **型番:** カメラのモデル名が表示されます。
- ④ **名前:** カメラの名前が表示されます。
- ⑤ **状態:** すでに登録されているカメラは登録と表示され、登録されていないカメラは未登録と表示されます。

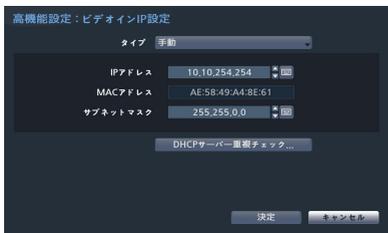
高機能設定：ビデオインIP設定

カメラがネットワークに接続されていながらも検索されない場合、本設定を使用します。本設定で、NVR後面パネルにあるVIDEO入力端子のネットワーク設定を変更することができます。本設定を使用する前には、まずカメラのネットワーク設定を確認してください。

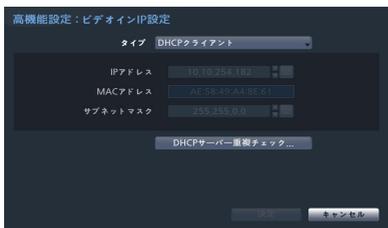
- ✓ 本設定がWAN設定と衝突を起こしてはなりません。WAN設定に対する詳しい内容は、[設置運用マニュアルのWAN \(IPアドレス\)](#)を参照ください。



- **リンク - ローカルアドレス:**初期設定(高機能設定は無効です)。



- **手動:**IPアドレスをはじめとし、ネットワーク設定を手動で行うことができます。



- **DHCPクライアントモード:**DHCPサーバからIPアドレスをはじめとするネットワーク設定が自動で割り当てられます。



- **DHCPサーバモード:**NVRをDHCPサーバで動作します。**DHCPサーバ重複チェック**を選択し、同様のネットワークにDHCPサーバがあるか確認します。DHCPサーバがない場合、本オプションを選択することができます。NVRがDHCPを利用し、VIDEO INポートに接続されているカメラのIPアドレスを自動で割り当てます。IPアドレス範囲は、**10.10.0.128 ~10.10.254.254** です。DHCPサーバモードでは、VIDEO INポートがNVRとカメラ間の単一ネットワークで接続される構成になります。サブネットマスクは255.255.0.0(Class B)です。

- ✓ 同一ネットワーク上に複数のNVRが存在する場合、その中で一つだけDHCPとして駆動しなければなりません。もし、複数のDHCPサーバが作動すると、カメラに重複したIPが割り当てられることがあります。
- 10.10.0.1~10.10.0.127のIPアドレスはNVRシステムに割り当てられているため、使用しないことをお勧めします。

1 スキャンボタンを押して検索してください。

VIDEO 入力端子に接続されているカメラのみ
検索・登録できます。

2 検索されたカメラをリストから選択した後、**カメラ追加**を選択すると、デバイスログインウィンドウが表示されます。

3 登録したいカメラの**ユーザーID**と**パスワード**を入力します。



- **全て適用**：一つ以上のデバイスを選択し、同じIDとパスワードを使用すると、選択されている全てのデバイスに同じユーザーとパスワードが適用されます。

暗証番号が基本値で設定されている場合、ログインウィンドウが開かず、カメラ追加を選択すると自動でカメラが追加されます。

カメラ登録モードの実行

監視モードでマウスの右ボタンをクリックし、**カメラ登録**をクリックしてください。



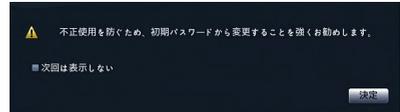
ログイン

環境設定や検索など、NVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

1 リアルタイム監視メニューでマウスを利用して⑧ (ログイン) を押してください。



2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。



- **パスワード変更警告画面**:初期パスワードのままだと表示されます。

工場出荷時のadminユーザーのパスワードは“1111”です。セキュリティのため通常パスワードを設定してシステムを運用してください。初期パスワードのままですシステムを使うと警告メッセージが表示されます。不正を防ぐため、工場出荷時のパスワードから必ず変更してください。

- ・ マウスでパスワード入力項目の右側にある  ボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、[設置運用マニュアルのスクリーンキーボードによる文字列入力](#)を参照ください。

3 マウスを右クリックしてログアウトをクリックしてください。



リアルタイム監視

リアルタイム監視メニュー

マウスポインタを画面上段に合わせてリアルタイム監視メニューが表示されます。



①	レイアウト	②	ディスプレイ	③	前画面グループ/ 次画面グループ	④	検索モード	⑤	カメラ選択
⑥	自動切替	⑦	フリーズ	⑧	緊急録画	⑧	緊急録画	⑨	アラーム
⑩	状態	⑪	ウィザード	⑫	設定	⑬	ステータス情 報ウィンドウ		

① レイアウト

画面のレイアウトを単一画面、3画面(コリドールフォーマット)、4画面に切り替えます。3画面(コリドールフォーマット)を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの**コリドールフォーマット**を選択しなければなりません。

② ディスプレー

- **OSD**(On Screen Display):**OSD**機能を活性化、または非活性化します。
- **比率維持**:カメラから出力される映像の縦横比を維持するかどうかを選択します。
- **比率維持**:カメラから伝送される映像のオリジナル比率を維持するかどうかを選択します。

③ 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

④ 検索モード

- **タイムラプス検索:検索モード>タイムラプス検索**を選択すると、保存されたデータを録画テーブルから検索または再生することができます。
- **イベントログ検索:検索モード>イベントログ検索**を選択すると、イベントログを検索し保存されたイベントを検索または再生することができます。

⑤ カメラ選択

選択したカメラを単一画面でみることができます。

⑥ 自動切替

リアルタイム監視モードで  を選択すると他のチャンネルを連続的に示して自動切替モードに変わります。

自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**  ボタンを押してください。自動切替中には、画面の左下のシステムステータス情報のところに  が表示されます。

フル切替

監視モードの全体画面および画面分割ですべてのチャンネルが順次に切り替わって表示されます。フル切替機能を使用するためには、ディスプレイ設定-メインモニターの自動切替設定で**フル切替**を選択する必要があります。

Ex> 4分割画面でフル切替



- **フル切替**での動作中には、画面左下のシステムステータス表示部分には自動切替の表示の隣にページ番号が表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
 - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
 - 映像信号がない場合
 - ロックされたカメラの場合
 - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

⑦ フリーズ

画面が停止されます。再び**フリーズ**を選択するとフリーズ状態が解除されます。

⑧ 緊急録画

緊急録画機能を使用/解除します。

⑨ アラーム

アラームが作動している間、内部ブザーを含むNVRの出力をリセットします。

⑩ 状態

イベント

全てのイベントの状態を確認することができます。
イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。



イベント項目

	アラーム入力		アラームインを確認
	モーション		映像信号なし
	オーディオ検出		トリップゾーン
	タンパーリング		テキストイン
	録画失敗		ファンエラー
	自動追跡		PIR

HDD

各ディスクの状態を表示します。



・ ディスクエラー

初期化されていません	使用したことのないディスク
良好	<ul style="list-style-type: none"> 正常に動作しているディスク HDDの一部が損傷しているとき、その割合が表示される
エラー	<ul style="list-style-type: none"> HDDの損傷の割合がユーザーの設定した割合より多い場合 システムイベント発生

・ 温度

N/A	温度が感知できないディスク
良好	正常な温度の場合は温度が表示される
不良	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーが設定した温度以上の場合 システムイベント発生

・ S.M.A.R.T.

N/A	S.M.A.R.T.機能に対応しないディスク
良好	S.M.A.R.T.状態が正常な場合
不良	S.M.A.R.T.状態が異常であり、ディスクが24時間以内に損傷する可能性のある場合

- 設定>システム>モニタリングでディスクエラー、ディスク温度設定を行うことができます。
- 録画データ項目で各ディスクのデータ保存時間情報を確認することができます。

11 ウィザード

ウィザードを起動し、システム運営に必要な初期設定を簡単に行うことができます。

12 設定

設定メニューに入ることができます。

13 ステータス情報ウィンドウ

ステータス情報ウィンドウ

	遠隔プログラムでNVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとカメラ間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとPC間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	NVRとカメラ間及び、NVRとPC間がオーディオ接続されている場合、このアイコンが表示されます。
	映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
1/4	全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。
	イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。
	HDD録画状態を表示します。上書の場合、このアイコンが表示されます。上書を使用しない場合、残っているHDDの容量が%で表示されます。

ビデオ録画

監視映像を録画します。録画に関する詳しい内容は**設置運用マニュアルの録画設定**を参照ください。

緊急録画

リアルタイム監視メニュー、または検索メニューで緊急録画  アイコンを選択すると、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画  アイコンを選択してください。録画設定 > 一般で緊急録画時間が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。詳しい内容は**設置運用マニュアルの録画設定**を参照ください。

- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- 録画設定-一般で緊急録画のために設定されたビデオプロファイルで録画されます。

 録画モードが上書状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

オーディオ録音

録画設定 > 一般でオーディオ録音設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。詳しい内容は**設置運用マニュアルのオーディオ、録画設定**を参照ください。

 設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。法律違反による責任はすべてユーザーにあります。

保存された映像の再生

マウスを使用して、映像を再生することができます。

- 保存された映像を再生するためには、検索権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- 検索モードでの初期再生位置は、前回最後に再生した部分または保存された部分のいちばん最後の部分になります。
- 録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときのみ可能です。
- 隠しカメラ設定がされたカメラがある場合、隠しカメラ機能が再生モードでも同様に適用されます。

全チャンネル再生

- リアルタイム監視モードでメニューボタンを押してください。
- 検索モード  アイコンを選択し、タイムラプス検索またはイベントログ検索を選択してください。
- 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替わります。

データ検索に関する詳しい説明は**設置運用マニュアルの検索**を参照ください。

WEB Client

ウェブクライアント(WEB Client)はインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。通常のウェブブラウザ(Internet Explorer)でいつでもどこでも接続することができます。

WEB Clientプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

- ・ OS: Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、Professional、Ultimate) or Microsoft® Windows® 10 (Home、Pro)
- ・ CPU: Intel Pentium IV 2.4GHz以上(Core 2 Duo E4600推奨)
- ・ RAM: 1GB以上(2GB推奨)
- ・ VGA: 128MB以上(1280×1024、24bpp以上)
- ・ Internet Explorer: Ver.8.0以上(32-Bit)



- ・ WEB ClientはMicrosoft® Internet Explorer(以下、IEという)だけに対応し、その他のウェブブラウザには対応しません。
- ・ WEB ClientはMicrosoft® Windows® 10のEdgeでは動作しません。

PF-RW004本体では、全方位カメラ(PF-CW1027等)の歪み補正表示ができませんが、WebClientで表示する場合は、全方位カメラの歪み補正表示ができます。

この場合、使用するPCの推奨条件は以下のようになります。

- ・ CPU: Intel Core™ i5-3570K 3.30GHz以上
- ・ RAM: 4GB以上
- ・ VGA: AMO Radeon™ HD 7700またはNVIDIA GeForce GTX650以上(1280×1024、32bpp以上)
- ・ Internet Explorer: Ver. 8. 0以上(32-Bit)

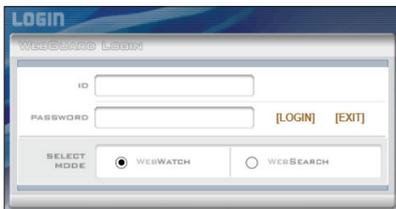
1 IEを起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。

- ・ [http://IPアドレス:ポート番号\(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したWEB Client接続ポート番号\(初期値:12088\)入力](http://IPアドレス:ポート番号(NVRシステムIPアドレスおよびネットワーク一般設定で設定したWEB Client接続ポート番号(初期値:12088)入力)
- ・ または、[http://UCN server address/UCNの名前\(UCNの名前:UCNサーバに設定したNVRのデバイス名\)](http://UCN server address/UCNの名前(UCNの名前:UCNサーバに設定したNVRのデバイス名))
- ・ または、<http://www.dvronline.net> (ログイン時のNVR IPアドレス、またはUCNサーバに登録されているUCN名)



接続したいNVRのIPアドレスおよびWEB Clientポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 WEB Clientログインウィンドウが表示されたら、"WEBWATCH" (ウェブ監視) または"WEBSEARCH" (ウェブ検索) を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。



<http://www.dvronline.net>を入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にNVRのIPアドレスを入力します。ログインウィンドウでUse DVRNSオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにUCNサーバに登録されているNVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でUCNサーバのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。



- WEB Clientプログラムの運用中にはログインウィンドウを閉じないでください。ウェブ監視モードまたはウェブ検索モードに切り替わるときスクリプトエラーが発生します。この場合はWEB Clientプログラムを再起動する必要があります。
- WEB Clientを実行するとき、アドレスバーまたはステータスバーが表示される場合、画面の下段部分が切れて表示されることがあります。この場合インターネット設定を変更し、アドレスバーまたはステータスバーを非表示にして実行することをお勧めします。（ツール→インターネットオプション→セキュリティ→レベルのカスタマイズ→ウェブサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可するオプションを使用に設定）
- Microsoft® Windows® 7、またはその上位バージョンのOSでWEB Clientプログラムを起動する場合、IEを起動するときにIEアイコンをマウスの右クリックすると表示されるメニューから**管理者の権限で実行**オプションを選択してください。そうしなければ、WEB Clientプログラムの一部機能が制限されることがあります。
- 新規バージョンのWEB Clientを最初に実行する場合、以前バージョンの情報を読み込むことがあります。この場合、**ツール→インターネットオプション→一般**タブに移動し、テンポラリインターネットファイルを削除してからもう一度WEB Clientを起動してください。
- Microsoft® Windows® 7、またはその上位バージョンのOSで映像伝送速度低下によって画面が映らなかったり、更新されなかったりすることがあります。この場合、ご使用中のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。管理者の権限でコマンドプロンプトを実行します。（スタート→アクセサリ→コマンドプロンプト→マウスの右ボタンをクリックし、**管理者の権限で実行**選択）**netsh int tcp set global autotuninglevel=disable**を入力したあとエンターキーを押します。PCを再起動し変更された設定を適用します。オートチューニング機能を復元するには、管理者の権限でコマンドプロンプトを実行したあと**netsh int tcp set global autotuninglevel=normal**を入力します。PCを再起動し変更された設定を適用します。

JSS遠隔監視システム

システム要件

	推奨仕様	最低仕様
OS	Microsoft® Windows®10 (64bit) (Home、Professional) Windows® Server2016以上	Microsoft® Windows®10
CPU	Intel® Core™ i7-7700 3.6GHz以上	Intel® Core™ i3-2100 3.1GHz以上
RAM	8GB以上	2GB以上
VGA	NVIDIA® GeForce® GTX1060、Quadro P2000以上 (1920×1080、75Hz以上)、マルチモニタ	NVIDIA® GeForce® GT710 (1280×1024、60Hz) ※ VGAはNVIDIA® GeForce®のグラフィックボード使用を推奨していますが、やむを得ずオンチップIntel® HD GraphicsのPCを使用する場合は、最低仕様として「Intel® HD Graphic530」以上が必要です。
HDD	6GB以上の空き容量	4GB以上の空き容量
LAN	Gigabit Ethernet以上	10/100Mbps Ethernet以上

インストール

ソフトウェアをインストールする前に、Microsoft® Windows®スタートメニューのコントロールパネルに移動し、電源オプションでモニタ節電機能とハードディスク節電機能を使用しないに設定してください。

- 1 ソフトウェアのインストールCDを準備します。
- 2 CDのSetupのフォルダの下にあるsetup.exeファイルを実行します。
 Microsoft® Windows® でユーザーアカウント制御画面が表示されることがあります。この場合、許可ボタンをクリックした後、設定画面の指示に従ってプログラムをインストールします。
- 3 インストール画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。
- 4 プログラムがインストールされる経路を指定した後、次ボタンをクリックします。
- 5 設置承認画面が表示されたら、次ボタンをクリックします。
 NET FrameworkとVisual C++Runtime Librariesが自動的にインストールされます。インストール時、時間が少々掛かる場合があります。
ユーザーのPCにNET Framework及びVisual C++Runtime Librariesが既にインストールされている場合、本インストールのプロセスは省略されます。
- 6 設置完了画面が表示されたら、閉じるボタンをクリックしてインストールを完了します。

プログラム起動

JSS遠隔監視システムソフトウェアをインストールするとデスクトップに**JSS遠隔監視システム**のジャンプアイコンが生成されます。**JSS遠隔監視システム**のジャンプアイコンをダブルクリックしてJSS遠隔監視システムプログラムを実行します。

ログイン

本プログラムは初期パスワードが設定されていません。パスワードを設定せずプログラムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。



プログラム実行時、次のようにログインしなければなりません。

プログラムを実行した後、ログイン情報を入力します。



- **IDを保存します**：この項目を選択するとログインする際、入力したIDを保存します。
- **最後監視セッション復元**：現在の監視パネルに以前の監視セッションを復元することができます。

- ✓ **使用者IDの初期値はadminであり、初期パスワードはありません。**
- ユーザーメニューでユーザーのIDやパスワードを変更することができます。

デバイスの登録

JSS遠隔監視システムで提供する機能を使用するためには、まずJSS遠隔監視システムにデバイスを登録した後、該当するデバイスをデバイスグループに追加しなければなりません。

- 1 **システムメニュー > JSS遠隔監視システム設定 > デバイス**を選択します。



- 2 **サイトパネルですべてのデバイスをクリックした後、右のサイトリストのパネルの下段にある + ボタン**をクリックします。デバイス検索画面が表示されます。



- 3 **検索モード**を選択した後、**検索開始**ボタンをクリックすると、**検索結果**をリストで表示します。
- 4 **デバイス検索画面**の下段の**デバイス登録**ボタンをクリックします。
- 5 ユーザー認証ウィンドウが表示されたら、**遠隔接続**のために各デバイスで設定したID・パスワードを入力した後、**確認**ボタンを押してください。



- 6 **サイトパネルでデバイスグループ**をクリックした後、**サイトパネル**の下段にある **+ ボタン**をクリックします。**デバイスグループの追加画面**が表示されます。



- **名前**：デバイスグループの名前を入力します。
 - **場所**：該当するデバイスグループが所属する上位デバイスグループを選択します。
- 左側のデバイスリストからグループに追加するデバイスを選択すると、右側にある**選択されたデバイスリスト**欄に追加されます。**確認**ボタンを押すと、デバイスグループに登録されます。

- 7 **デバイスがデバイスグループに正しく追加されて**

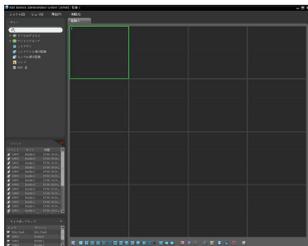
いるか確認します。サイトパネルでデバイスグループをクリックした後、デバイスグループの左側の矢印ボタンをクリックします。登録されたデバイスグループをクリックすると、該当するデバイスグループに追加されたデバイスリストが右側に表示されます。



登録されたデバイスグループを選択した後、サイトパネルの下段にある ボタンをクリックすると**デバイスグループ修正画面**が表示され、該当するデバイスグループを修正することができます。

リアルタイム監視

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**監視**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、監視画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトのリアルタイム映像が画面に表示されます。



録画された映像の再生

- 1 サイトリストでデバイスグループにデバイスが追加されているか確認してください。
- 2 パネルタブで**再生**タブをクリックします。サイトリストで接続するサイトを選択した後、再生画面の上にマウスでドラッグ&ドロップします。選択したサイトの録画映像が画面に表示されます。

JSS遠隔監視-モバイル



本サービスは多量のデータを使用するため、無線LAN (WiFi) を使用することをお勧めします。携帯会社のインターネット (3G、LTE) で接続する場合、課金されることがあります。

Androidのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAndroid **Playストア** (Google Play) アプリケーションを実行してください。
- 2 **Playストア** (Google Play) アプリケーションの検索欄に**JSS遠隔監視**と入力してください。
- 3 **JSS遠隔監視**をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 **New Site** (遠隔地追加) ボタンをタップしてからデバイス情報を入力してデバイスを登録してください。



- **一般**：JSS遠隔監視より使用するデバイス名を入力します。
- **接続情報**：UCN 構成、リモートアドレス、リモートポート設定
参考：デバイスがUCN機能を使用しない場合、選択を解除します。別のUCNサーバを運営する場合、初期画面の上段タイトルバーより (環境設定) を選択してUCNサーバの情報を設定します。(アドレス初期設定値：dvrnames.net/ ポート初期設定値：10088) 詳しい内容はUCNサーバ管理者にお問い合わせください。
参考：デバイスがUCN機能を使用しない場合、**UCN使用**項目の選択を解除してからアドレス項目にデバイスのIPアドレスを入力します。ポート番号の場合、初期値の使用をお勧めします。
- **アカウント**：デバイスログインの時に使用する使用者ID及びパスワードを入力します。(使用者IDの初期設定値：admin、パスワードの初期設定値は無し)

iOSのモバイルデバイス

- 1 モバイル機器よりAppストア  アプリケーションを実行してください。
- 2 Appストアアプリケーションの検索欄に**JSS遠隔監視-モバイル**と入力してください。
- 3 **JSS遠隔監視-モバイル**をインストールしてプログラムを実行してください。
- 4 タイトルバーの **+** (新規登録) ボタンを押します。デバイスの情報を入力し、デバイスを登録します。



- **一般**：JSS遠隔監視-モバイルより使用するデバイス名を入力します。
- **接続情報**：UCN 構成、リモートアドレス、リモートポート設定
参考：デバイスがUCN機能を使用しない場合、選択を解除します。別のUCNサーバを運営する場合、初期画面の上段タイトルバーより  (環境設定) を選択してUCNサーバの情報を設定します。(アドレス初期設定値：dvmnames.net/ ポート初期設定値：10088) 詳しい内容はUCNサーバ管理者にお問い合わせください。
- **アカウント**：デバイスログインの時に使用する使用者ID及びパスワードを入力します。(使用者IDの初期設定値：admin、パスワードの初期設定値は無し)

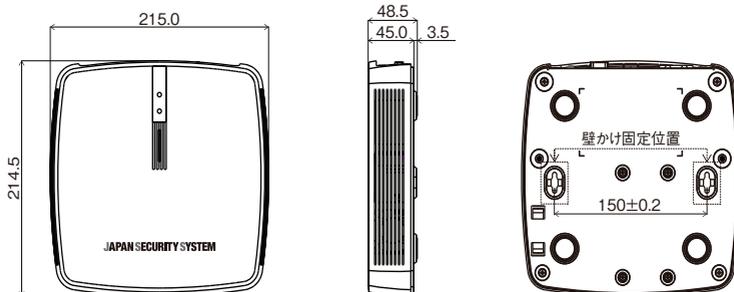
製品の仕様

仕様

ビデオ	ビデオ入力	4ch
	対応カメラプロトコル	JSS、ONVIF ※ONVIF接続する場合の画像圧縮方式はH.264となります。
	ビデオ出力	HDMI:×1、VGA:×1
	最大入力処理能力(ライブ+録画+遠隔)	84Mbps(32+32+20)
	ディスプレイ解像度	1920×1200、1920×1080、1680×1050、1600×1200
録画	最大ディスプレイ速度 (最大ディスプレイ処理能力)	最大120ips 40Mbps、4ch@フルHD
	最大処理能力	32Mbps、120ips@フルHD
	最大録画解像度	5MP(ネットワークカメラに依る)
	画像圧縮方式	H.264
再生	録画モード	タイムラプス、イベント、プリアイベント、パニック(緊急録画)
	性能	4ch フルHD同期再生
	検索モード	カレンダー、日時指定、イベントログ、サムネイル、モーション、テキストイン
保存	HDD	内蔵:4TB
	バックアップ	USB記録装置(USB HDD、USBメモリなど)
	RAID	—
ネットワーク	本体内蔵PoEカメラポート	Fast Ethernet(IP Camera)×4
	外部Videoポート	—
	クライアント接続ポート	Fast Ethernet(Client)×1
	転送速度	20Mbps / 50Mbps(BRP Mode)
	PoE電源供給能力	PoE(IEEE802.3at class4)4ports、30W
	イベントアラーム	Email(添付ファイル(.cbf、.MP4))、コールバック(遠隔ソフトウェア)
インターフェース	オーディオ入力 / 出力	Local(NVR):— / 1HDMI IP Camera:4 / 4(カメラに依る)
	アラーム入力	IP Camera4(カメラに依る)
	アラーム出力	IP Camera4(カメラに依る)
	アラームリセット入力	—
	内蔵ブザー	—
	シリアルインターフェース	—
一般	USB端子	USB2.0×2
	外形寸法	約215(幅)×48.5(高)×214.5(奥)mm ※突起物含まず
	質量	約1.2kg(HDD1個装着時)
	使用温度範囲	0~40℃(湿度90%未満 ※結露しないこと)
	電源	56V電源アダプタ:Input:AC100-240V 50/60Hz、1.4A Output:DC56V、1.17A
	消費電力	DC56V・0.7A 最大39.2W
同梱物	NVR本体×1、電源ケーブル/電源アダプタ(56V)、簡易マニュアル×1、マウス、遠隔プログラム/製品のマニュアルCD、保証書	

外形寸法図

単位: mm



アフターサービスについて

この製品は「保証書」を別途添付しております。所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■ 保証について

正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。

- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 本製品が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

修理を依頼されるときは

下記事項をお買い上げ販売店にご連絡ください。

- ① 故障の状況(できるだけくわしく)
- ② 品名と品番(5MP対応PoE給電方式 4ch ネットワークビデオレコーダ【PF-RW004】)
- ③ お買い上げ年月日(保証書に記入)
- ④ 製造番号(保証書に記入)
- ⑤ お名前、おところ、電話番号

■ 定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検の実施をおすすめします。詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

- 万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
本製品は当社保証規定に基づいて保証させていただいております。

JAPAN SECURITY SYSTEM
Safety and trust keep to the future

ご購入元メモ欄

株式会社 日本防犯システム

〒105-6109 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービルディング9階

www.js-sys.com/

本製品の仕様は製品の質を高めるために事前の予告なく変更される場合があります。